

平成26年度
事業報告書

平成26年4月1日から
平成27年3月31日まで

公益財団法人 真田山陸軍墓地維持会

平成26年度 公益財団法人 真田山陸軍墓地維持会 事業報告書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

今期は公益財団法人へ移行後2年目の事業年度となり、各公益目的事業を計画通り実施することを主眼に各施策を推進した。平素の墓地見学者や活動に理解を頂き清掃奉仕を頂く団体も増加の傾向にある。特に、慰霊・追悼事業の中心として実施した夏の万灯会や秋季慰霊祭に昨年を上回る参加を頂いたことは、大いに励みとなった。

また、各公益目的事業の内容の充実を図るための、財政基盤の強化については、維持会員の入会促進、増口の依頼についても僅かながら維持会員受取会費の増額につながった。自販機売上金からの寄付金については、関係各社の協力により安定した財源の一部となっている。以下に平成26年度の事業計画に基づき、実施した事業の概要について報告する。

1. 事業の実施状況

(1) 慰霊祭の開催による戦没者の崇敬と世界の平和を祈念する思想の普及に寄与する事業

(公益目的事業 1)

① 秋季慰霊祭の実施

本年度の秋季慰霊祭は、10月25日の土曜日午前10時半より実施した。

参詣者は遺族はじめ、地元出身国会議員、大阪府議会議員、大阪市議員、陸上自衛隊、各種団体から昨年を上回る合計330名を超える参詣を頂き、晴天のもと無事に執行できた。

慰霊祭は、全員による国歌斉唱に引き続き、今回も陸上自衛隊の協力を頂き、当墓地に眠る精霊に対しラッパ吹奏「国の鎮め」を吹奏、黙祷の後、本門佛立宗清風寺住職・僧侶の奉仕による読経唱題、吉川理事長による祭文奏上、大阪府遺族連合会岡倉会長による追悼の辞、追悼電報披露、来賓焼香、参詣者焼香へと進み、11時40分に終了。

遺族の高齢化に伴い、年々遺族会からの参詣者が減少しているため、今回は平素、墓地の清掃奉仕に協力頂いている各宗教団体へも協力団体協議会を通じ、協力を呼びかけたことが、参詣の増加に繋がったともと思われる。

② 慰霊祭当日の講演会、写真パネルによる自衛隊の活動紹介並びに活花奉納について

慰霊祭終了後の午後12時30分より、管理棟において、NPO法人旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会の理事長小田康徳先生を講師に迎え、「真田山陸軍墓地内納骨堂の調査から見えてきたもの」とのテーマで講演会を開催し、当墓地の歴史的価値の啓発・普及に務めた。慰霊祭参詣者の中で、希望者約40名に受講を頂き、午後1時45分終了した。

また、当日慰霊祭会場では自衛隊大阪地方協力本部の協力により、写真パネルの展示コーナーを設け、自衛隊の災害派遣活動等の活躍の様子を参詣者に紹介し、紛争や災害のない平和な国づくりと国を守ることの大切さを啓発する一助とした。

午後2時前からは、現在、生け花の可能性を追求し、国内外で精力的に活動されている未生流笹岡家元 笹岡隆甫氏が、この慰霊祭に際し、戦没者に対する慰霊追悼と平和への祈りを込めて、納骨堂正面祭壇前において「生け花奉納」をして頂いた。

この慰霊祭を通じて、今日の我国の平和は過去の幾多の戦争に際し、国を守るために戦い、尊い命を捧げられた将兵や戦没者の犠牲の上に築かれていることを一人でも多くの方に理解頂き、戦没者の崇敬と悲惨な戦争を二度と繰り返さない平和の尊さを尊重する思想の普及に繋がるものと確信する。

③ 万灯会の実施

本年も8月15日夕刻より、恒例になった万灯会を実施し、当墓地に眠る将兵に対し、慰霊供養を行った。当日は雨が降ったり止んだりの生憎の天候であったが、開始時間には何とか雨が

上がり、点灯後はローソクの光りの中、参加者による追悼の詩吟や参加団体 NPO 法人大楽小楽のリーダー唱導のもと、鎮魂の思いを込め全員で唱歌を合唱した。今回は早くからポスターを作成し各種団体への協力を呼びかけ当日までの除草、清掃奉仕を頂き、当日は前年を約100名上回る約250名の参加を頂いた。

④諸団体が実施する慰霊行事、個人参拝者の支援

納骨堂や墓碑前で実施される本門佛立宗清風寺、念法真教、天理教はじめ各種宗教団体の月例慰霊法要の湯茶等の接待、自衛隊墓地研修時における献花対応、個人参拝者からの要請に基づく案内等の対応を行った。

(2) 墓地見学者の案内と学術調査活動により得られた調査・研究成果の啓発と普及を図る事業 (公益目的事業 2)

①真田山旧陸軍墓地の学術的調査活動の推進

当墓地の調査・研究を前年度に引き続き、大学教授、近現代史研究家等で構成する「NPO法人旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会」に委託し、墓碑銘文及び納骨堂の遺骨の調査結果に基づき、埋葬・納骨将兵及び当陸軍墓地の歴史に関する研究を進めた。その成果として、「旧真田山陸軍墓地研究年報2」として提供を受けた。

同研究年報に掲載された研究報告は次の通り。

- ・幕末長州藩における戦死忠死者祭祀 布引敏雄著
- ・西南戦争と屯田兵 富井恭二著
- ・上田靖治資料が語る真田山陸軍墓地と日中戦争 西川寿勝著
- ・真田山陸軍墓地の戦後処理と仏教会 森下 徹
- ・納骨堂被葬者データベースの完成と今後 小田康徳著

②墓地見学者に対する案内

当墓地については、平成7～10年の3年間に亘る国立歴史民俗博物館の学術調査以来、歴史的文化財としての価値ある貴重な存在であることが判明している。これまでの歴史学者や研究者による学術調査・研究活動によって得られた成果、情報を歴史資料として、墓地見学者はじめ、広く一般に公開し、近代日本史に関する学術の振興に寄与することを目的として、見学申込の諸団体は勿論、個人見学者についても、積極的に受入れ案内に努めた。詳細は事業報告書付表3「主な墓地見学会等の実施状況」参照。

③墓地資料展示室の整備と活用

墓地の案内希望者に対し、当墓地の歴史的価値や概要、また我々の活動を理解頂くため、可能な限り墓地資料展示室を観て頂いた後、現地案内を心掛けた。そのため、保有している墓地調査資料やNPO法人旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会より新たに提供を受けた資料の展示や、展示説明文の更新を行うなど資料展示室の整備を進め、墓地情報の啓発・普及に努めた。

④パンフレット等の活用

墓地見学者や問合せのあった個人・団体には、墓地の概要、時代別墓碑例の紹介、当法人の目的・事業内容等を簡潔に紹介した前年度作成のA4サイズ4頁のパンフレット「真田山旧陸軍墓地」を配付し、当墓地に関する情報の周知・理解に努めた。

⑤ホームページの活用

ホームページを法人の活動内容の広報の主要手段として、最新情報の掲載と内容の充実に

努めた。

26年4月～27年3月の1年間のアクセス件数は5,114件で前年度より約500件増加した。

⑥ マスメディアへの対応

今年度は、ラジオ1社、テレビは海外1社(上海テレビ)を含む2社、新聞は3社からの取材を受けた。いずれの報道も、当墓地の情報を発信できるよい機会と考え、取材申し込みに対して積極的に対応した。

⑦ 墓地案内人育成のための、マニュアルの作成

近年、当墓地に関するテレビ・新聞の報道件数の増加に伴い、墓地見学者も増加していることから、墓地案内用のB5サイズの冊子を再編集、頁数も増やし30頁とした。

この冊子は、当陸軍墓地の設立経過・歴史をはじめ、年代順墓碑群や納骨堂の概要説明、当法人の設立と活動のあゆみ、公益目的事業の概要等を掲載しており、案内人用のマニュアルとしても活用でき、今後の案内人育成のツールとしても役立つものとする。

(3) 墓地・墓碑、その他施設の維持及び修復に関する事業(公益目的事業 3)

① 劣化の進んだ墓碑の修復・保存活動

当墓地には、和泉砂岩製の墓石は3,526基あり、その大半が経年劣化により、剥離の進行や倒壊の危機に曝されており、墓碑の劣化進行防止は大きな課題となっている。1昨年の劣化状態調査で状態が良いAタイプから、折損などで修復が難しいDタイプまで4段階に分類し、本年度は、前年度に委託研究機関である京都造形芸術大学歴史遺産学科において、強化処理の施工方法を確立した比較的傷みの軽微なAタイプ、Bタイプ墓碑50基の強化処理を実施した。薬剤は、ワッカーOH(ワッカーケミー社)を使用し、施工中はビニールハウスを基にした覆いを作成、墓碑の保護を行った。

また、本年度は損傷が進行しているCタイプの墓碑の修復・保存方法の技術的検討を進めるべく、京都造形芸術大学歴史遺産学科と委託契約を締結し、劣化進行を防ぐための具体的な保存方法の検討を進めた。

平成27年度以降は、施工数を増やすと共に、引き続き京都造形芸術大学に委託し、損傷が進行している墓碑の修復・保存方法の技術確立と施工を目指す。

② 個人墓碑の建替え希望遺族に対する支援について

自費で墓碑の建替えを希望する遺族からの要請については、建替基準(原状を変更しない条件)を提示し、大阪市長宛に届出に関する支援を行い、墓地景観の維持に努めることとしているが、本年度の申請はなかった。

③ 墓地の除草・清掃等、環境維持活動

大阪市が実施される、植栽の剪定、草刈りの他、諸団体、ボランティアの協力を頂き、各団体の奉仕日や担当箇所を調整を行い、墓地の除草・清掃が実施でき環境の維持が図れた。

また、ここ数年、中部方面総監部隷下の第三師団や第36普通科連隊の幹部候補生、隊員の研修として年間3～4回見学や清掃奉仕に来て頂いており、この墓地が旧陸軍時代に第四師団の陸軍墓地であったことを考えると、大変意義あることと感じている。特に4月の休日には、私服で見学を兼ね清掃奉仕に総監以下、幹部自衛官が参加頂いた陸上自衛隊伊丹修親会の行事は、当法人の活動を理解頂くよい機会となったと感謝している。

詳細は事業報告書付表4「墓地の清掃、除草等の環境保全活動の実施状況」参照。

④ 協力団体による協議会を開催について

6月16日、本門佛立宗清風寺、念法真教、霊友会第八支部、天理教、大楽小楽の協力5団体の窓口担当者による協議会を開催し、8月15日に開催する「万灯会」並びに10月25日に

開催する秋季慰霊祭に対する事前の清掃奉仕・当日の参加協力要請を行うと共に、当日の進行内容や役割分担の協議を行い、それぞれの行事の成功に繋げた。

(4) 法人の運営・管理に関する活動状況

① 法令に基づく、法人の運営・管理について

行政庁への事業報告書、事業計画書等の定期提出書類は、法令に基づき遅滞なく届け出を行うと共に、未整備であった特定費用準備資金取扱規程の制定を行い、関係法令の遵守に努めた。また、公益法人協会主催の公益法人会計セミナーにも事務員を参加させ法人会計知識の習得に務めた。

② 維持会員の入会促進

財政基盤の安定化を図るため、機会あるごとに広報活動を行い、維持会員の入会勧誘に努めた結果、昨年度末に比べ維持会員数で6人、口数で17口増加した。

その結果、3月末日現在で維持会員数は、法人会員数74人、個人会員数28人の合計102人、維持会費口数で205口となった。

今後も事業内容の充実を図るため、維持会員の入会勧誘並びに増口依頼に務める。

③ 寄附金募集の推進

寄附金については、維持会員の入会勧誘同様、機会あるごとにリーフレットを活用し、広報活動に努め勧募を推進。今年度は、納骨堂の調査で遺骨が保管されていることが判明したご遺族より50万円もの高額の寄附金を頂き、大いに活動に対する励みとなった。

④ 墓地管理の強化と環境改善

主たる事務所での事務機能の充実を図るため、ノートパソコン1台を購入、管理棟と従たる事務所間のパソコン通信運用の為の通信回線の変更、折り畳みテーブルやパイプ椅子を購入。また、エアコンを設置し、管理棟での事務作業・会議、見学者や清掃奉仕者の休憩場所の環境改善を進めた。

⑤ 理事会・評議員会の開催

理事会・評議員会については、次のとおり開催した。

・理事会 平成26年5月2日、5月29日、6月13日、10月10日、平成27年2月17日

・評議員会 平成26年5月15日、6月13日、平成27年2月27日

2. 財務状況

今年度は、特別に寄附金を頂き、経常収入・経常費用とも当初予算より増加した。いずれも補正予算を編成し処理した。その結果、当期経常増減額は昨年度より421,478円減少し、-60,569円となり、一般正味財産期末残高は、前年度より60,569円減少の1,345,113円(基本財産への充当額410,000円を含む)を計上した。また、正味財産は前年度末に比べ、60,494円減少し、4,245,263円となった。

3. 年度末の役員・評議員・事務局員の状況

平成27年3月31日現在の役員・評議員・事務局員の数は次の通りである。

・理事数 8名 ・監事数 2名

・評議員数 10名

・事務局員数 2名

事業報告書付表 【活動内容内訳】

1. 理事会・評議員会等の開催状況

月 日	会議名	内 容
平成26年 5月2日	理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員会の招集及び評議員会に提出する議案について ・後任理事の推薦について
5月29日	理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度事業報告及び附属明細書の承認について ・平成25年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認について ・理事、監事の任期満了に伴う、理事、監事の選任、理事長・副理事長・常務理事の選定スケジュールについて ・事業報告等に係る大阪府へ提出する定期提出書類について
6月13日	理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長、副理事長及び常務理事の選任について ・評議員会での監事選任結果について
10月10日	理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・秋季慰霊祭の実施要領について ・評議員会の招集及び会議の目的である事項等について ・職務執行状況の報告
平成27年 2月17日	理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度収支補正予算の承認について ・平成27年度事業計画の承認について ・平成27年度収支予算の承認について ・特定費用準備資金取扱規程の制定について ・維持会員の入会承認について ・定時評議員会の招集及び会議の目的である事項等について ・内閣府公益法人行政担当室からの「事業計画書等の提出」についてのお知らせについて ・近畿財務局の真田山旧陸軍墓地視察について ・職務執行状況の報告
平成26年 5月15日	臨時評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・理事1名の辞任に伴う後任理事の選任について
6月13日	評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認について ・任期満了に伴う理事の選任について ・任期満了に伴う監事の選任について ・平成25年度事業報告及び附属明細書について
平成27年 2月27日	臨時評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度収支補正予算について ・平成27年度事業計画について ・平成27年度収支予算について ・特定費用準備資金取扱規程の制定について ・維持会員の入会状況について ・内閣府公益法人行政担当室からの「事業計画書等の提出」についてのお知らせについて ・近畿財務局の真田山旧陸軍墓地視察について

2. 関係機関先との折衝及び各種行事への参加状況

実施日	関係先	内容・行事名	対応者・参加者
平成26年			
4月7-8日	公益法人協会	公益法人会計セミナー	事務局(永田)
4月29日	近畿借行会	昭和殉難者法務死追悼・年次法要(高野山)参列	事務局(八木)
5月 8日	大阪市建設局	異動に伴う挨拶並びに墓地の管理体制の打ち合わせ	花畑副理事長・事務局(八木)
5月20日	大阪護国神社	春季慰霊大祭参列	事務局(八木)
6月11日	陸上自衛隊大阪地方協力本部募集課 広報班	慰霊祭のラップ吹奏音楽隊派遣要請書提出	事務局(八木)
6月16日	協力団体5法人	協力団体協議会(万灯会・慰霊祭に関する協力依頼)	花畑副理事長・吉岡常務理事 事・事務局(八木・永田)
6月26日	大阪府総務部法務課	平成25年度事業報告書等法定書類提出(電子申請)	事務局(八木)
6月29日	FM大阪	墓碑の保存・修復に関する取材対応	事務局(八木・永田)
7月11日	上海テレビ	真田山旧陸軍墓地取材対応	吉岡常務理事・事務局(八木・永田)
7月18日	NPO法人大楽小楽	万灯会に関する打合せ	吉岡常務理事・事務局(八木)
7月31日	大阪市建設局	墓地案内・管理体制の打ち合わせ	吉岡常務理事・事務局(八木)
8月15日	テレビ大阪	万灯会に関する取材対応	吉川理事長・花畑副理事長
8月15日	産経新聞	万灯会に関する取材対応	吉川理事長・花畑副理事長
8月28日	NPO法人旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会	「旧真田山陸軍墓地研究年報2」の受給部数打合せ	吉岡常務理事・事務局(八木)
9月 5日	大阪府遺族連合会	秋季慰霊祭参列・慰霊祭協力金交付お願い	事務局(八木)
9月 5日	天王寺区長	秋季慰霊祭参列依頼	事務局(八木)
9月10日	本門佛立宗清風寺	秋季慰霊祭参列並びに僧侶出座お願い	事務局(八木)
9月11日	陸上自衛隊中部方面総監	秋季慰霊祭参列依頼	花畑副理事長・吉岡常務理事 事・中川評議員
9月12日	大阪府福祉部	大阪府戦没者追悼式へ出席	吉岡常務理事
9月13日	日本経済新聞	真田山旧陸軍墓地取材対応	吉岡常務理事・事務局(八木)
9月17日	自衛隊大阪地方協力本部長及び陸上自衛隊第三師団長	秋季慰霊祭参列依頼	花畑副理事長・吉岡常務理事 事・事務局(八木)
9月25日	近畿借行会	歴史研究会参加	吉岡常務理事
9月26日	NPO法人大楽小楽	「日本の心を学ぶコンサート」参加	吉岡常務理事
9月28日	NPO法人旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会	ミニ研究会参加	吉岡常務理事
10月 4日	石川博崇参議院議員	真田山旧陸軍墓地視察対応	吉岡常務理事
10月16日	空堀振興町会・大阪市建設局	墓地内での町内行事の制限に関する打合せ	花畑副理事長・吉岡常務理事 事・事務局(八木)
10月21日	毎日新聞	真田山旧陸軍墓地取材対応	事務局(八木)
10月27日	特攻勇士顕彰会	大阪護国神社での特攻勇士慰霊祭へ出席	吉岡常務理事
10月28日	国会議員	国会議員事務所へ慰霊祭の追悼電報御礼挨拶	花畑副理事長・中川評議員
11月11日	毎日新聞	真田山旧陸軍墓地取材対応 ※	吉岡常務理事
12月 2日	京都造形芸術大学・元興寺文化財研究所	墓石の修復方法に関する打合せ	事務局(八木・永田)
平成27年			
3月18日	産経新聞	真田山旧陸軍墓地取材対応	吉岡常務理事
3月18日	信濃毎日新聞	真田山旧陸軍墓地取材対応※	吉岡常務理事

3. 主な墓地見学会等の実施状況

実施日	見学者	内 容	対応者
平成26年			
4月 5日	近鉄文化サロン音楽教室	墓地案内 約20名	吉岡常務理事
4月19日	陸上自衛隊伊丹修親会	墓地案内 110名 ※	花畑副理事長・吉岡常務理事・ 中川評議員・事務局(八木・永田)
4月29日	うえに生協診療所	墓地案内 34名	吉岡常務理事
5月 9日	一般見学者	墓地案内 5名	吉岡常務理事
5月10日	一般見学者	墓地案内 2名+3名	吉岡常務理事
5月10日	一般見学者	墓地案内 3名+2名+1名	吉岡常務理事
5月25日	一般見学者	墓地案内 9名 ※	吉岡常務理事
6月 8日	高槻退職教員の会	墓地案内 約 20名 ※	吉岡常務理事
6月 9日	陸上自衛隊第36連隊	墓地研修 午前50名、午後40名	花畑副理事長・吉岡常務理 事・事務局(八木・永田)
6月21日	神戸女学院	墓地案内 20名(教師3名、学生17名)	吉岡常務理事
6月22日	一般見学者	墓地案内 5名(内1名遺族)	吉岡常務理事
7月 4日	玉出小学校	墓地案内 7名(教師1名、生徒6名)	吉岡常務理事
7月13日	大阪教育大学	墓地案内 17名(教師3名、学生14名)	吉岡常務理事
7月22日	桃山大学	墓地案内 1名	吉岡常務理事
7月23日	一般見学者	墓地案内 4名(大人1名、子供3名)	吉岡常務理事・事務局(永田)
8月 3日	霊友会第八支部	墓地案内 約 20名	吉岡常務理事・事務局(八木)
8月10日	現代史セミナー	墓地案内 約 30名 ※	吉岡常務理事
8月15日	協力4団体、一般参加者	真田山墓地見学及び万灯会に参加 約250名	吉川理事長、花畑副理事長・ 吉岡常務理事他、役員6名
9月 2日	一般見学者	墓地案内 2名×2組	吉岡常務理事
9月 7日	歴史漫歩会	墓地案内 4名	吉岡常務理事
9月23日	上町台地今昔タイムズ	墓地案内 28名	吉岡常務理事
9月23日	一般見学者	墓地案内 2名×2組+1名	吉岡常務理事
9月28日	一般見学者	墓地案内 6名 ※	吉岡常務理事
10月11日	歴史漫歩会	墓地案内 約 28名	吉岡常務理事
10月12日	宇都隆史議員秘書・産経新聞	墓地案内 2名	吉岡常務理事
10月14日	大阪市教育センター	墓地研修 約 30名 ※	吉岡常務理事
10月19日	天王寺ウォーク会	墓地案内 82名 ※	吉岡常務理事
10月24日	陸上自衛隊第36連隊	慰霊祭前日清掃奉仕者に対する墓地案内 31名	吉岡常務理事
10月25日	慰霊祭来賓・一般参詣者	来賓・参詣者に対し慰霊祭前後に墓地案内	花畑副理事長・吉岡常務理事・ 中川評議員・案内担当スタッフ
10月26日	一般見学者	墓地案内 5名 ※	吉岡常務理事
11月 8日	池田9条の会	墓地案内 10名 ※	吉岡常務理事
11月13日	一般見学者	墓地案内 旭区千林女性8名、大学生1名	吉岡常務理事
11月18日	天王寺区食生活改善協議会	墓地案内 13名	吉岡常務理事
11月22日	古伝承を訪ねる会	墓地案内 36名 ※	吉岡常務理事
11月23日	一般見学者	墓地案内 11名 ※	吉岡常務理事
11月24日	自衛隊員	墓地案内 伊丹駐屯地2名、久留米駐屯地2名	吉岡常務理事
12月 6日	柏原9条の会	墓地案内 10名 ※	吉岡常務理事
12月 8日	大阪市教育センター	墓地研修 約 40名 ※	吉岡常務理事
12月17日	悠歩会	墓地案内 20名 ※	吉岡常務理事
平成27年			
2月22日	一般見学者	墓地案内 5名 ※	吉岡常務理事
3月15日	終戦70周年 大阪大空襲慰霊のつどい	墓地案内 22名 ※	吉岡常務理事
3月16日	陸上自衛隊第3師団	幹部候補生 墓地研修 22名	花畑副理事長・吉岡常務理事・ 中川評議員・案内担当スタッフ
3月22日	一般見学者	墓地案内 8名 ※	吉岡常務理事

※の案内についてはNPO法人旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会に協賛を頂き実施

4. 墓地の清掃、除草等の環境保全活動の実施状況

協力頂いた団体名称		内 容	参加人数等
毎月1回	本門佛立宗清風寺	納骨慰霊堂での参詣読経及び除草・清掃奉仕	毎月20～30名
毎月8日	天理教	毎月除草・清掃奉仕	毎月20～25名
毎月1回	念法眞教	納骨慰霊堂での参詣読経及び除草・清掃奉仕	毎月20～40名
4月19日	陸上自衛隊伊丹修親会	墓地案内後 清掃奉仕	110名
4月29日	天理教	合同一斉清掃奉仕	約800名
6月21日	霊友会第八支部	除草・清掃奉仕	約100名
8月 3日	霊友会第八支部	除草・清掃奉仕	155名
8月15日	NPO法人大楽小楽、本門佛立宗清風寺、霊友会第八支部	万灯会準備のための清掃奉仕	約40名
10月24日	陸上自衛隊第36普通科連隊、天王寺区地域女性協議会、本門佛立宗清風寺、念法眞教、霊友会第八支部、天理教、タカラヘルモント(株)等各団体	秋季慰霊祭前日の清掃・墓碑1基ずつへの供花	約230名

備考) 3項の自衛隊の墓地研修については、毎回清掃奉仕を頂いている。